

RAKUSAI Pub.Lab.

Workshop Report vol.1



洛西ニュータウンのこれからを市民とともに考え、作り上げるワークショップ“RAKUSAI Pub.Lab.(洛西パブリカボ)”の2025年度1回目が6月21日に開催されました。

開催概要

日時 2025年6月21日(土) 10:00~12:30
会場 西京区役所洛西支所 2階 大会議室
参加者 20名

当日の流れ

- 1 あいさつ
- 2 RAKUSAI Pub. Lab. について
- 3 対話のエクササイズ
- 4 ペアインタビュー
- 5 テーブルトーク「私がやってみたいこと」
- 6 共有タイム
- 7 おわりに

あいさつ

今年もたくさんの方にお集まりいただきありがとうございます。昨年度から始まったこの取組は、10年後の洛西のまちのビジョンを考え、その風景を実現するため、皆さんと一緒に実践していく場となります。今年度も、洛西のまちを豊かにする取組を、楽しく進めていただければと思います。



京都市 都市計画局
住宅室住宅政策課
八木担当課長

RAKUSAI Pub. Lab. について

本ワークショップでは、昨年度に引き続き様々な年代や知識を持つ人が集まり、対話やインプットを通して学び合いながら洛西の理想の未来を考えます。暮らしを豊かに、地域を良くするアイデアを話し合い、いくつかのチームに分かれて具体的な取組を考え、公共スペースを使ってお試します。

スケジュール

- 1 6/21(土) 10:00-12:30
洛西Pub.Lab.について
- 2 7/26(土) 10:00-12:30
洛西でやってみたいことを考えよう
- 3 8/9(土) 10:00-12:30
企画をつくろう
- 4 9/27(土) 10:00-12:30
お試し実施にむけた準備をしよう
- お試し実施
- 10月中旬
まちなかでのお試し実施
- 5 11/8(土) 10:00-12:30
お試しを振り返り、これからを考えよう
- 6 2026.2/21(土) 10:00-12:30
来年度の取組を考えよう

今年度のポイント

昨年度は短期間でワークショップを進めまちなかの社会実験を行いました。これは①話し合った理想の風景を描いてみる、②とにかく小さくでもはじめることを大事にしていたからです。今年度はパブラボでの取組を「日常に馴染ませる」ことを目標に、単発のイベントではなくどう続けていけるか、どう広げていくかも検討しましょう。

ポイント

社会実験 ≠ イベント = 日常化にむけた実験

洛西がこうだったらいいなを実践し、当たり前風景にしていく。そのため、実施場所や実施期間時間帯などは参加者の話し合いをもとに検討。

話し合いのルール

本ワークショップでは互いが楽しく、創造性のある対話になるように話し合いのルールを設けています。また、アイデアが生まれやすくなる会話術「Yes, and」についても説明しました。

5つの話し合いを楽しむルール

- 1 話を最後まで聞く
- 2 意見の批判をしない
- 3 全員が意見を出す
- 4 できない条件よりできる条件を探す
- 5 面白い意見に便乗する

肯定からはじめる魔法の言葉

Yes, and

いいね～、さらにこうしてみようよ！

Yes, or

なるほど～、一方でこんなふうにも考えられるかも～

対話のエクササイズ | 2択ジャンプ

対話を始める前に、身体と頭のエクササイズとして2択ジャンプに挑戦しました。これは参加者全員が1列にならび、スクリーンに表示される質問の答えを瞬時に考え、答えの方向にジャンプするというものです。休日の過ごし方から、地域の行きつけの店まで様々な質問があり、自分の答えがメジャーなのかマイナーなのか知るきっかけにもなりました。



回答を選んで、セーのでジャンプ！

ペアインタビュー

参加者の皆さんが何に興味をもち、どんなことに取り組んでみたいかを知るためにペアインタビューを行いました。人と話すことで自分の考えがまとまったり、相手の意見を受けて考えが変化したりする効果があります。



ペアになって参加動機や
やってみたいことを
インタビュー



聞いたことはメモ



また別のひとと
インタビュー

テーブルトーク「私がやってみたいこと」

ペアインタビューをふまえて、理想の洛西の暮らしやパブラボでやってみたいことをそれぞれで考えワークシートに記述し、テーブル内で共有したあと、壁に貼り出して全員で共感するものにシールを貼ったり、質問をしたりしました。



洛西は〇〇かもしれない（理想の洛西での暮らし） *（）内は重複して出された意見の数

居心地がよく、一人ひとりが豊かに暮らしているまち

- ・明るく自然が豊かで、心身ともに豊かに暮らせるまち
- ・子育てしやすい、高齢者の安全・安心もあるまち
- ・新しいライフスタイルがあるとまわりから思われるまち
- ・地域外からも住んでみたいと思える居心地の良いまち
- ・日本一のニュータウン、皆が憧れるモデルタウンに（2）

自然と共にあるまち

- ・子どもたちが田畑や竹林に自由に出入りできる
- ・自然を浴びて自由を感じられる
- ・自然と触れ合いのびのび過ごせる場所がたくさんあるまち
- ・環境保護やCO2削減に取り組むまち
- ・今以上にローカルで自然とテクノロジーが融合するまち

公共空間が魅力的なまち

- ・まちに人が集う空間がたくさんあり、いかされている（2）
- ・小畑川中央公園やサブセンターなどが活用されている
- ・他の地域からも人が訪れるまち

チャレンジできるクリエイティブなまち

- ・「住む」「働く」「遊ぶ」が一体となったクリエイティブなまち
- ・子どもからお年寄りまで一緒に何かに取り組める
- ・まちの空間にいろんな人やチームが関わり、活動が生まれる
- ・チャレンジができるまち、みんなの「やってみたい」が形になるまち（2）
- ・やりたいことが実現できる、挑戦したくなるまち

人と人がつながるまち

- ・若者が集まり、世代を超えた交流がある
- ・身近なことを身近な人同士で解決できる
- ・隣の人の顔が見える
- ・小畑川中央公園まわりで、人々が思い思いに過ごせる（2）
- ・多文化・多世代交流の地域

今年のパブラボでやってみたいこと

子どもも大人も一緒に楽しめる外遊び

- ・超ビッグなダンボールオセロで遊ぼう
- ・木にブランコをつけた遊び場
- ・水辺での水遊びや自然を見ながらのパーティ
- ・子どもアクション（こどもたちがまちを良くする実践の場）
- ・洛西ニュータウン内の全ての公園を使った企画

<アート・創造活動>

- ・漫画づくり
- ・アート・絵・ものづくりワークショップ

<農・自然>

- ・竹の取組（流しそうめん、竹の工作、ギネス挑戦）
- ・竹りんびっく（竹を使った誰でもできるスポーツ）
- ・日常的に自然・農業・林業に触れられる仕組み
- ・洛西の自然を充分に感じられる空間づくり
- ・竹やぶでの「たけのご掘り」体験
- ・石のある場所での自然を眺めながらのパーティ

<情報発信>

- ・パブラボのPR
- ・洛西マルシェでの情報発信
- ・昨年度の取り組みのアップグレード

<勉強会やスキルアップ>

- ・地域のことを知るためのイベント・勉強会
- ・SDGsの実現を意識した取組
- ・グラフィックレコーディングをやってみたい（勉強会・WS）

食を通じた交流・つながりづくり

- ・ビアパーティ、麻雀大会
- ・まちなかやタウンセンターでの移動式コーヒースタンド&オープンカフェ
- ・洛西の食でつながる場（みんなでつくる・集まる・食べる）
- ・コミュニティ菜園（タウンセンター広場）

交流を軸とした取り組み

- ・犬好きが集まるドッグラン&カフェ
- ・ともだち100人計画（定期的な「ゆる〇〇会」）
- ・老若男女問わず関われる地域活動
- ・世代間交流（異世代・外国人との交流）
- ・困りごとを地域で共有できる「よろずネットワーク」づくり
- ・子どもからお年寄りまで一緒に参加できる取組
- ・中高生なども参画した交流の場（洛西マルシェなど）
- ・サブセンターまわりの企画
- ・地域のサブセンターを活かした交流、祭り

傾向

人とのつながりや交流の要素が入ったアイデアが多くみられました。また、「食」「竹林や公園を使った取組」「子どもも参加できる取組」は共感も多く、次回の話し合いのテーマになりそうです。「もう少し対話を重ねたい」という参加者も多いため、次回も参加者同士でテーマを固めずに話し合うグループもつくることとしました。